

▼ごみの分別について▼

ご意見



現在、雑紙の分別を開始していますが、いまいち浸透していない気がします。回収日が月1回だけというのも気になります。また、プラスチックごみの分別も行ってはどうでしょうか。他県では、プラスチックごみの分別を行って燃えるごみの量が減ったと聞いています。



▲収集された雑紙。資源ごみとして再利用されます。

【回答】環境課

今年の1月1日から、燃やせるごみとして収集していた紙類を、雑紙として分別し収集しています。おかげをもちまして、焼却するごみの量が減少し、資源ごみの量が増えてきています。しかし、まだ多くの紙類が燃やせるごみとして捨てられているので、広報紙等で多くの方々に周知し、協力していただきたいと考えています。収集についても、雑紙の量が増え続ければ収集回数の見直しを検討します。

ご提案いただいたプラスチックごみの分別については、ごみの減量・再資源化等を進めていく上で必要なことと考えています。しかし、燃やせるごみの焼却の際に、プラスチックと一緒に焼却した方が燃えやすく、燃料費を節約できているという実情もあります。また、プラスチックごみの分別を行うためには、収集・分別の体制を全面的に見直す必要があります。今後の課題とさせていただきます。

他にもこんな意見をいただきました

メールでいただきました

件名 突然のメール失礼します

私は、物販の会社で開発の仕事をしています。山陽小野田市の人口分布等が調べたく、本日より市役所を訪問いたしました。総合受付にて上記の開示閲覧はできるかと質問した所、担当部署まで案内していただき、担当の方にも親切に対応していただきました。

仕事柄、西日本全地域で行政を訪問し人口等の質問・都市計画の質問をする時が多いですが、ここ数年の間で山陽小野田市の印象がベストと感じ、メールをしてしまいました。

単なる受付・窓口業務かもしれませんが人とのつながりの一歩だと思えます。

今後の山陽小野田市の発展を期待しています。

後日お礼文をいただきました



「小学校の通学路に、側溝の蓋や斜面の転落防止柵が無い箇所があって、通学する子どもが危険だわ。何とかならないかしら？」



手紙で市に要望

「このたびご意見いただいた箇所については、市でも把握しており、現在工事の準備中です。ご心配をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。」



後日、無事に工事も完了



「工事のおかげで、子どもが安全に通学できるようになりました。返答いただいたことも含め、ありがとうございました。」

